

前回の素形材産業ビジョン（平成25年3月） 概要

参考資料 1

～我が国のものづくりを支える素形材産業、今後の目指すべき方向性を考える～

今後の方向性 ～我が国ものづくり基盤の確保～

ものづくりで我が国を再興する

☆我が国は、価格競争に陥らない高い品質の製品を送り出す拠点となることを戦略の中心に位置付け、世界中の製造業を引き付けていくことが重要。

☆我が国を製造業で再興するためには、サポーティングインダストリーの代表たる素形材産業の維持・発展が不可欠。

そのために以下の方向性が重要

1. 世界で勝てる技術力を持つ

- 企業としては、IT化によって属人的な「技能」を形式知化された「技術」に転換していく。また、技術流出防止策を講ずる。
- 政府としては、新分野へ進出するための企業の研究開発の取組支援。3D積層造形技術開発等。

3. 魅力的なものづくりの現場で、魅力的な人材を育てる

- 企業としては、作業環境の改善で3Kのイメージを払拭。ITを駆使した知識集約型の産業へ転換。
- 政府としては、人材育成に対する支援。

5. 自らの仕事をもっと世の中に発信する

- 企業としては、HPの充実や展示会への出展。
- 政府としては、毎年11月の素形材月間における広報活動の取組等。

2. 仕事の幅を広げて付加価値を高める

- 企業としては、M&A等の手段も用いつつ、川上、川下の工程を内製化し、隣接領域へ拡大していく。
- 政府としては、成長産業へ参入するための異業種連携に対する支援。

4. 健全な取引慣行で強靱なサプライチェーンを作る

- 企業としては、法令を熟知し、契約意識を高めること。業界一枚岩で対応すること。
- 政府としては、消費税増税等に対応するための「素形材ガイドライン」の改訂。

6. 海外市場を取り込み「グローバル企業」

- 企業としては、国内に現場を残して海外展開。
- 政府としては、諸外国との事業環境のイコールフットィングの実現、海外ミッション派遣、海外進出への検討を促すための連携体構築に関する支援。